

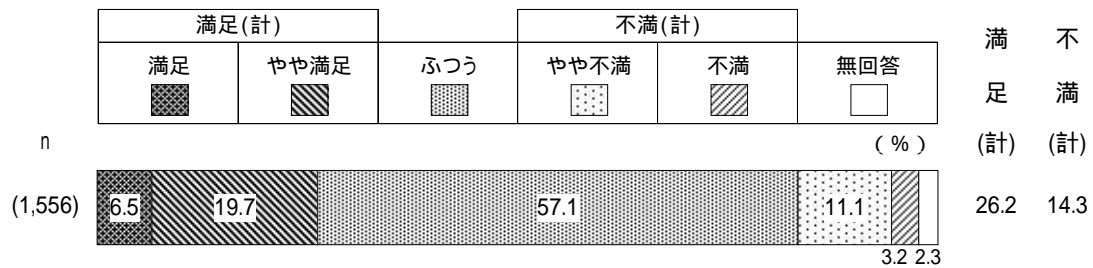
5 . 環境

(1) 川越市の環境への満足度

『満足(計)』は26.2%

問33 あなたは、川越市の環境について、どのように感じていますか。次の中から1つ選んでください。(は1つ)

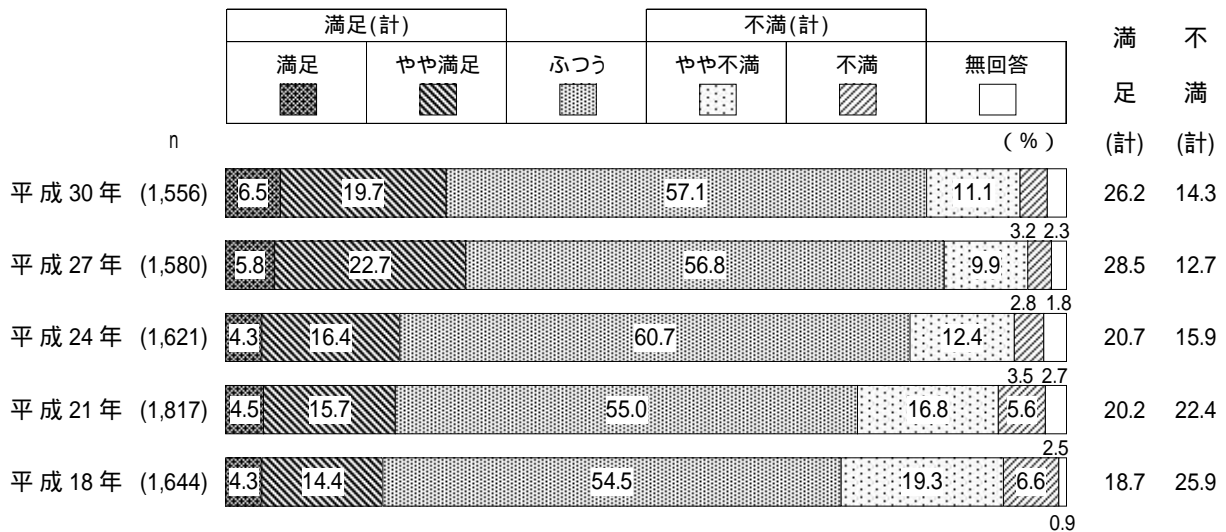
図表 5 - 1 - 1



川越市の環境への満足度をたずねたところ、「満足」(6.5%)と「やや満足」(19.7%)を合わせた『満足(計)』(26.2%)は2割半ばとなっている。一方、「やや不満」(11.1%)と「不満」(3.2%)を合わせた『不満(計)』(14.3%)は1割半ばとなっている。(図表5-1-1)

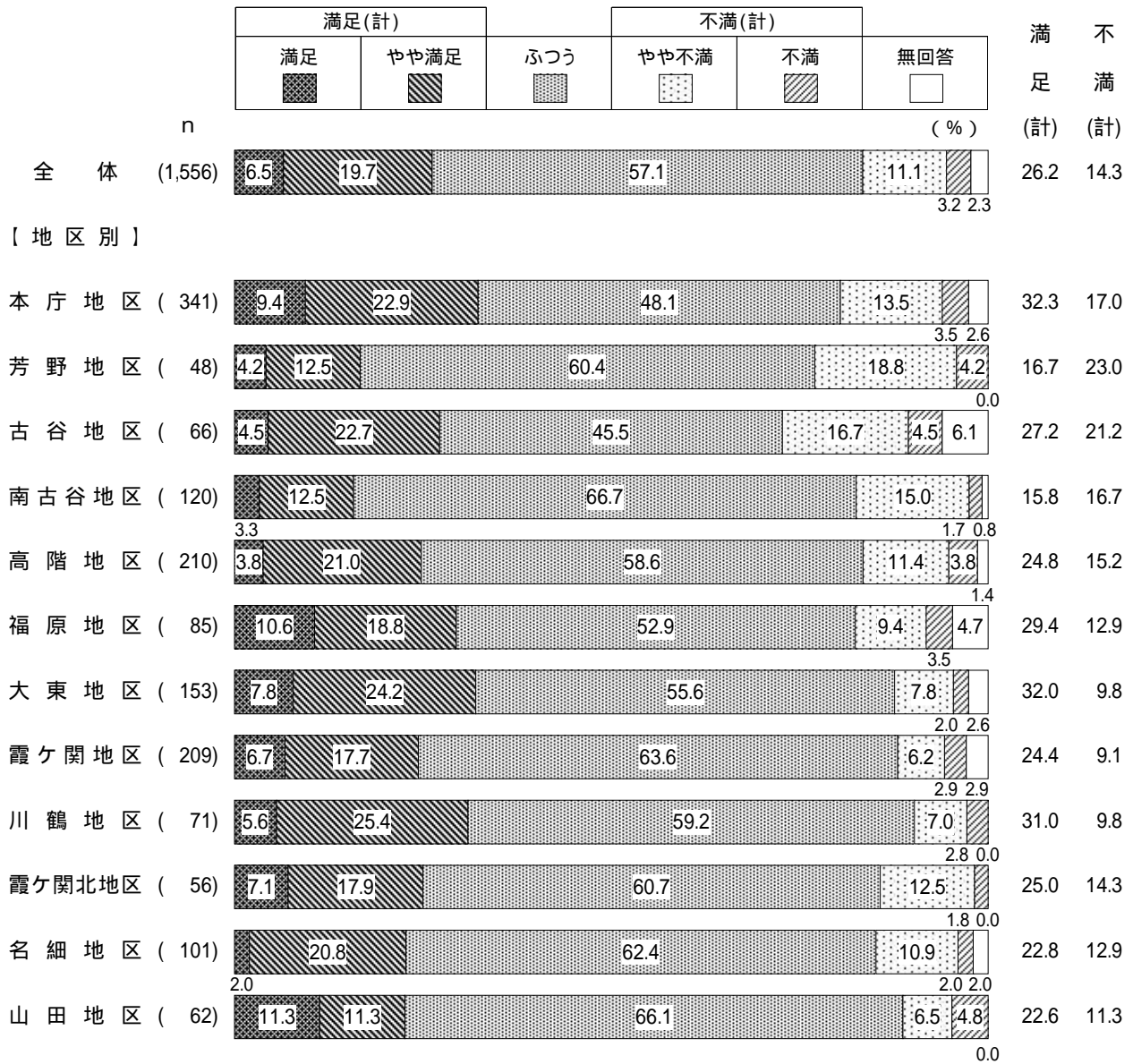
時系列でみると、前回調査と比べて大きな傾向の違いはみられない。(図表5-1-2)

図表 5 - 1 - 2 時系列 - 川越市の環境への満足度



地区別にみると、『満足(計)』は本庁地区、大東地区、川鶴地区で3割を超えて多くなっている。一方、『不満(計)』は芳野地区と古谷地区で2割を超えて多くなっている。(図表5-1-3)

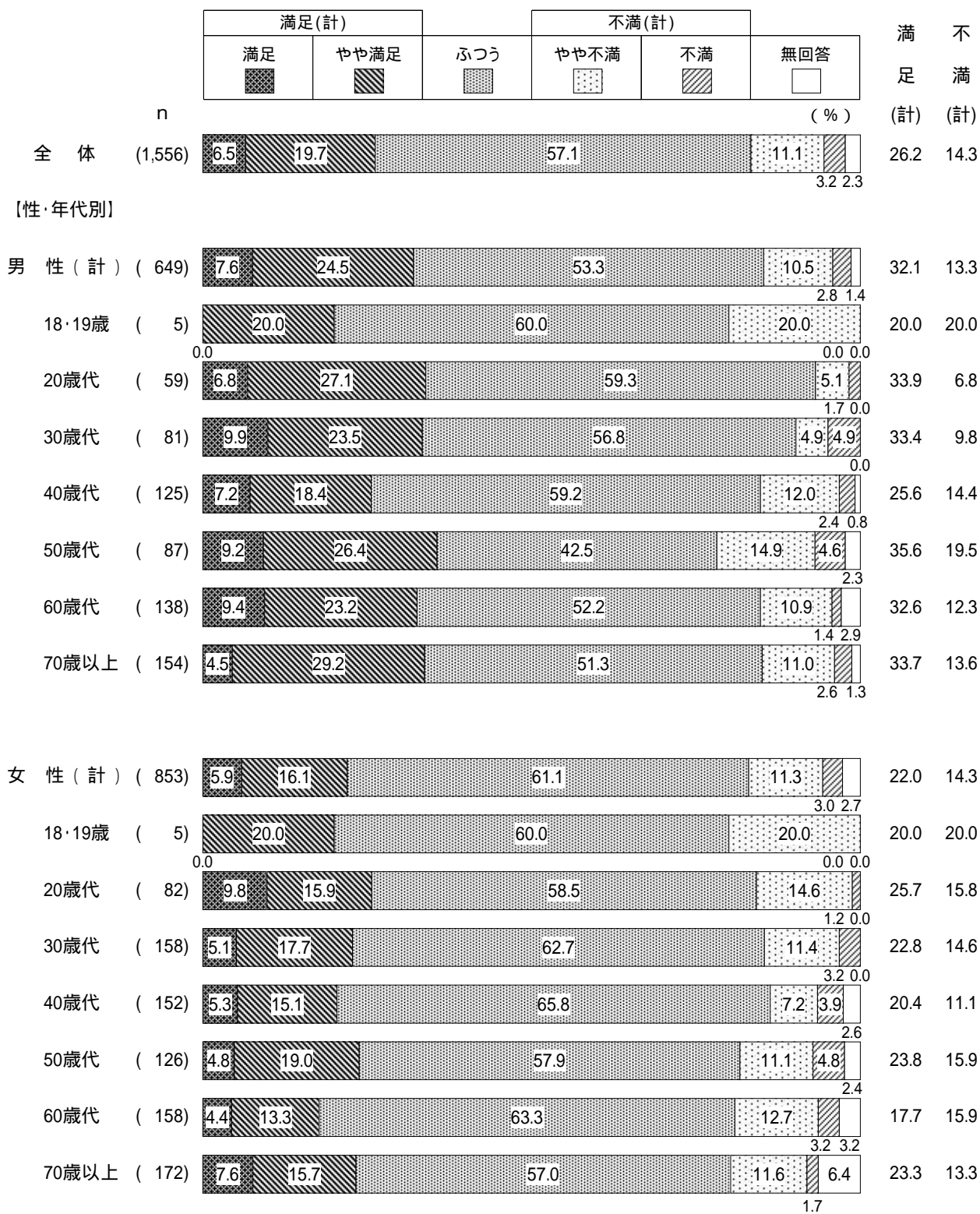
図表5-1-3 地区別 - 川越市の環境への満足度



性・年代別にみると、『満足(計)』は男性50歳代で3割半ばと多くなっている。

(図表5-1-4)

図表5-1-4 性・年代別 - 川越市の環境への満足度

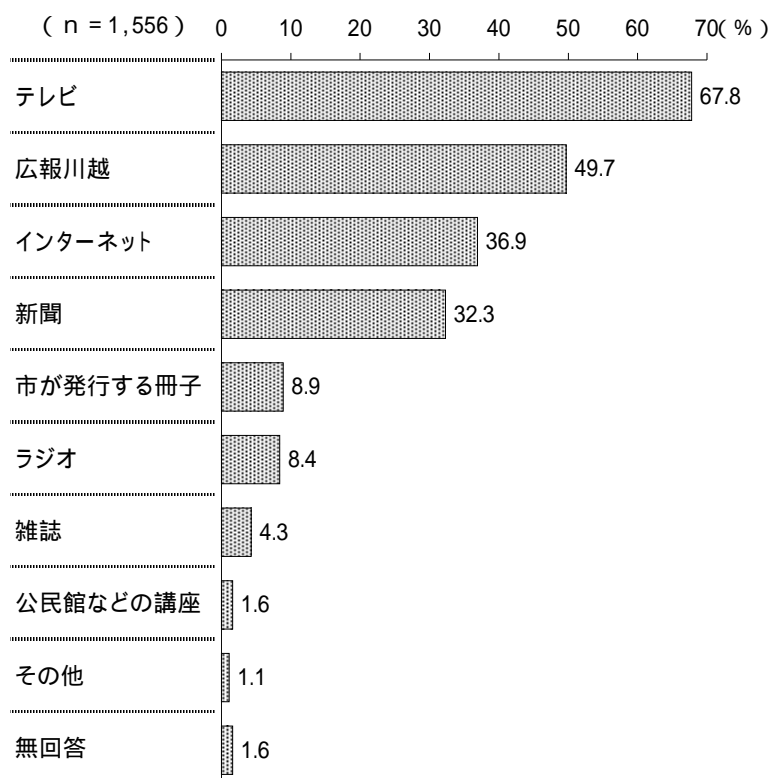


(2) 環境に関する情報の入手先

「テレビ」が67.8%

問34 あなたは、普段、環境に関する情報をどこから入手していますか。次の中から3つ以内で選んでください。(は3つ以内)

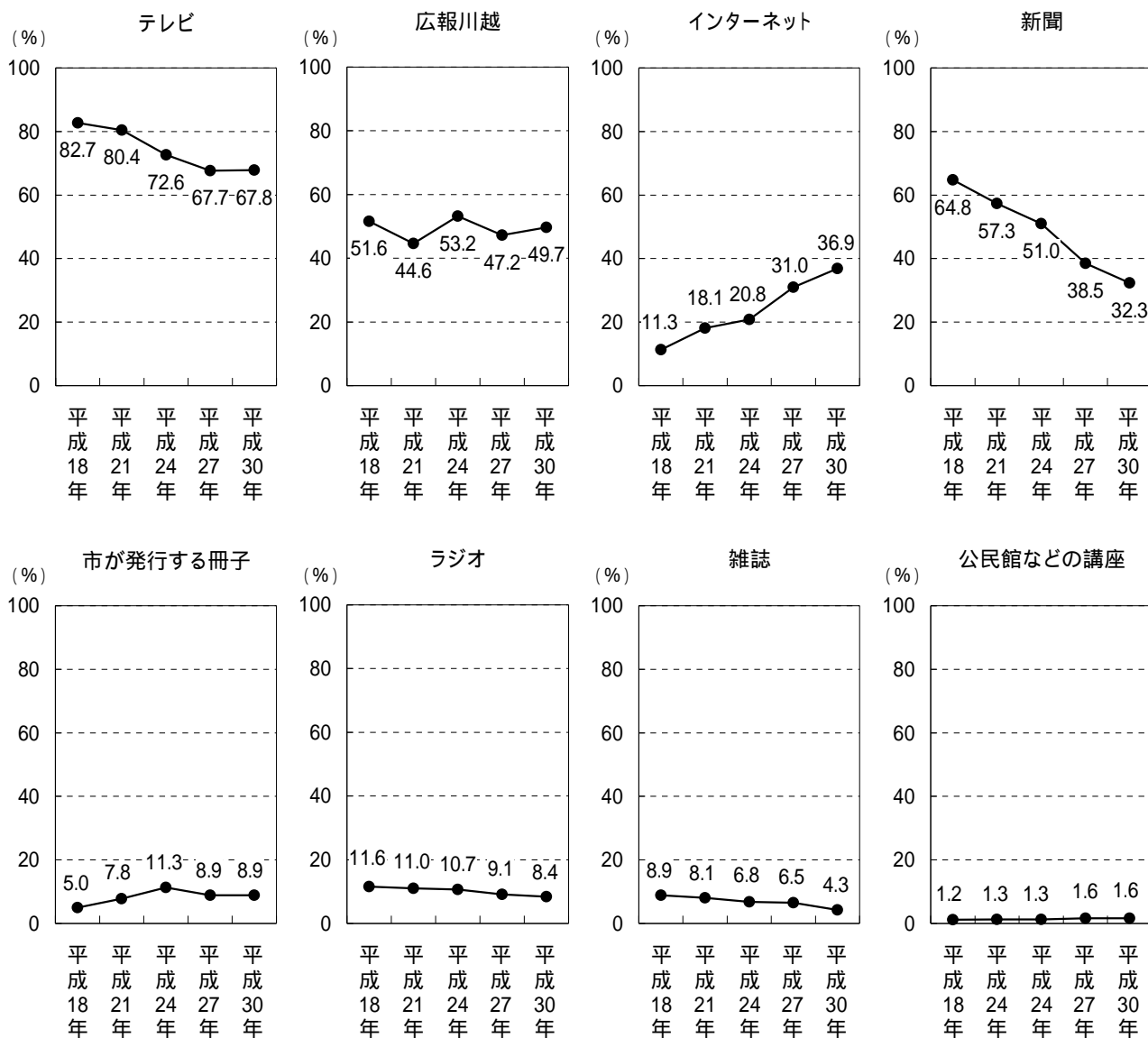
図表5-2-1



環境に関する情報の入手先をたずねたところ、「テレビ」(67.8%)が7割近くで最も多くなっている。以下、「広報川越」(49.7%)、「インターネット」(36.9%)、「新聞」(32.3%)などの順となっている。(図表5-2-1)

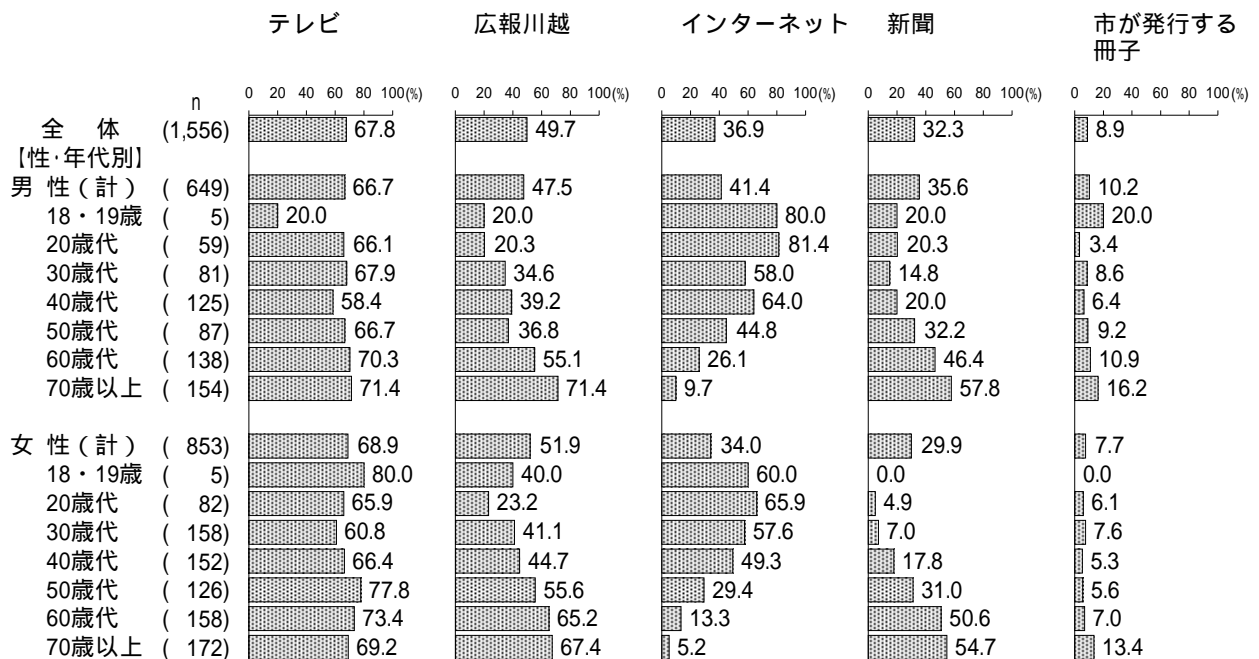
時系列でみると、「インターネット」は平成18年以降増加傾向となっており、前回調査より5.9ポイント増加している。一方、「新聞」は平成18年以降減少傾向となっており、前回調査より6.2ポイント減少している。（図表5-2-2）

図表5-2-2 時系列 - 環境に関する情報の入手先



上位5項目を性・年代別にみると、「テレビ」は女性50歳代で8割近くと多くなっている。「広報川越」は男女ともにおおむね年代が高くなるにつれて多く、男性70歳以上で7割を超え、女性の60歳代と70歳以上で6割台となっている。「インターネット」は男性20歳代で8割を超え、女性20歳代と男性40歳代で6割半ばと多くなっている。(図表5-2-3)

図表5-2-3 性・年代別(上位5項目) - 環境に関する情報の入手先



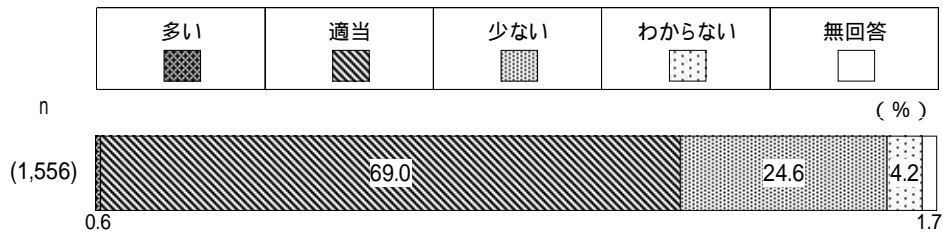
(3) 資源ごみの収集回数 / 収集回数を増やす品目 / 収集回数を増やすための経費

1. 収集回数

「適当」が69.0%

問35 資源の循環的な利用を促進する取組として、資源ごみ収集についておたずねします。
- 1 収集回数は適当だと思いますか。(は1つ)

図表 5 - 3 - 1



資源ごみの収集回数についてたずねたところ、「適当」(69.0%)が約7割で最も多くなっている。「多い」(0.6%)はわずかとなっており、「少ない」(24.6%)は2割半ばとなっている。

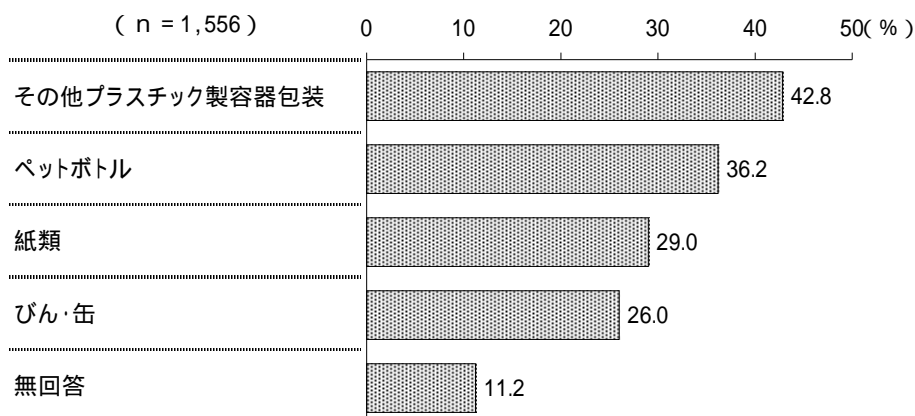
(図表 5 - 3 - 1)

2. 収集回数を増やす品目

「その他プラスチック製容器包装」が42.8%

問35 - 2 収集回数を更に増やすなら、品目は何がよいですか。(○はいくつでも)

図表 5 - 3 - 2



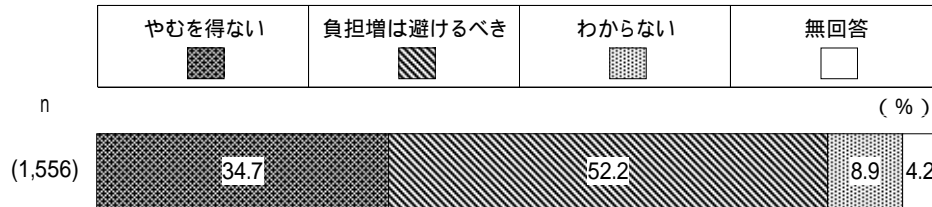
収集回数を増やす品目についてたずねたところ、「その他プラスチック製容器包装」(42.8%)が4割を超えて最も多くなっている。以下、「ペットボトル」(36.2%)、「紙類」(29.0%)、「びん・缶」(26.0%)の順となっている。(図表 5 - 3 - 2)

3. 収集回数を増やすための経費

「負担増は避けるべき」が52.2%

問35 - 3 収集回数を増やすため、経費が増えることについて、どのように思いますか。
(は1つ)

図表 5 - 3 - 3



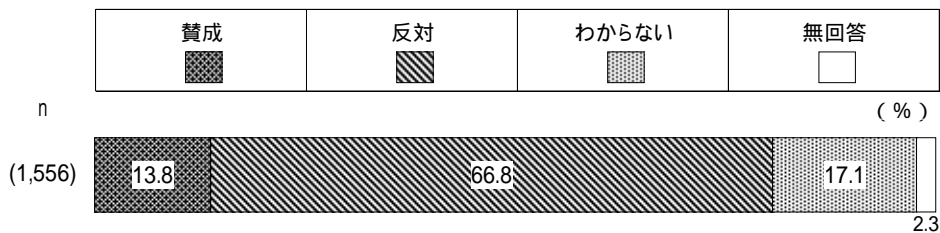
収集回数を増やすための経費についてたずねたところ、「やむを得ない」(34.7%)は3割半ば、「負担増は避けるべき」(52.2%)が5割を超えている。(図表5-3-3)

(4) 家庭ごみ収集の有料化

「反対」が66.8%

問35 ごみ処理費用負担の公平性の観点から、家庭ごみ収集を有料化することについて、どのように思いますか。(○は1つ)

図表 5 - 4 - 1



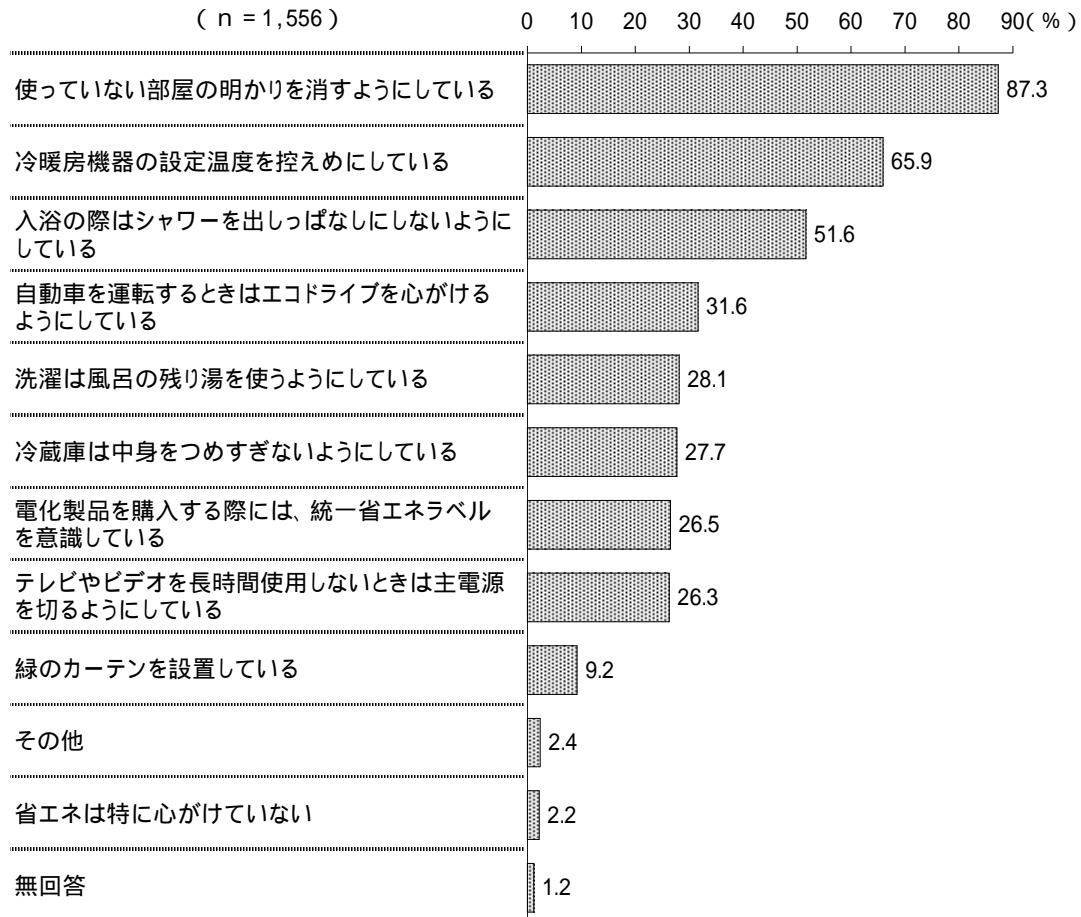
家庭ごみ収集の有料化についてたずねたところ、「賛成」(13.8%)は1割を超え、「反対」(66.8%)が7割近くとなっている。(図表5-4-1)

(5) 実行している省エネ活動

「使っていない部屋の明かりを消すようにしている」が87.3%

問36 あなたは、省エネのためにどのようなことを行っていますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。(はいくつでも)

図表 5 - 5 - 1

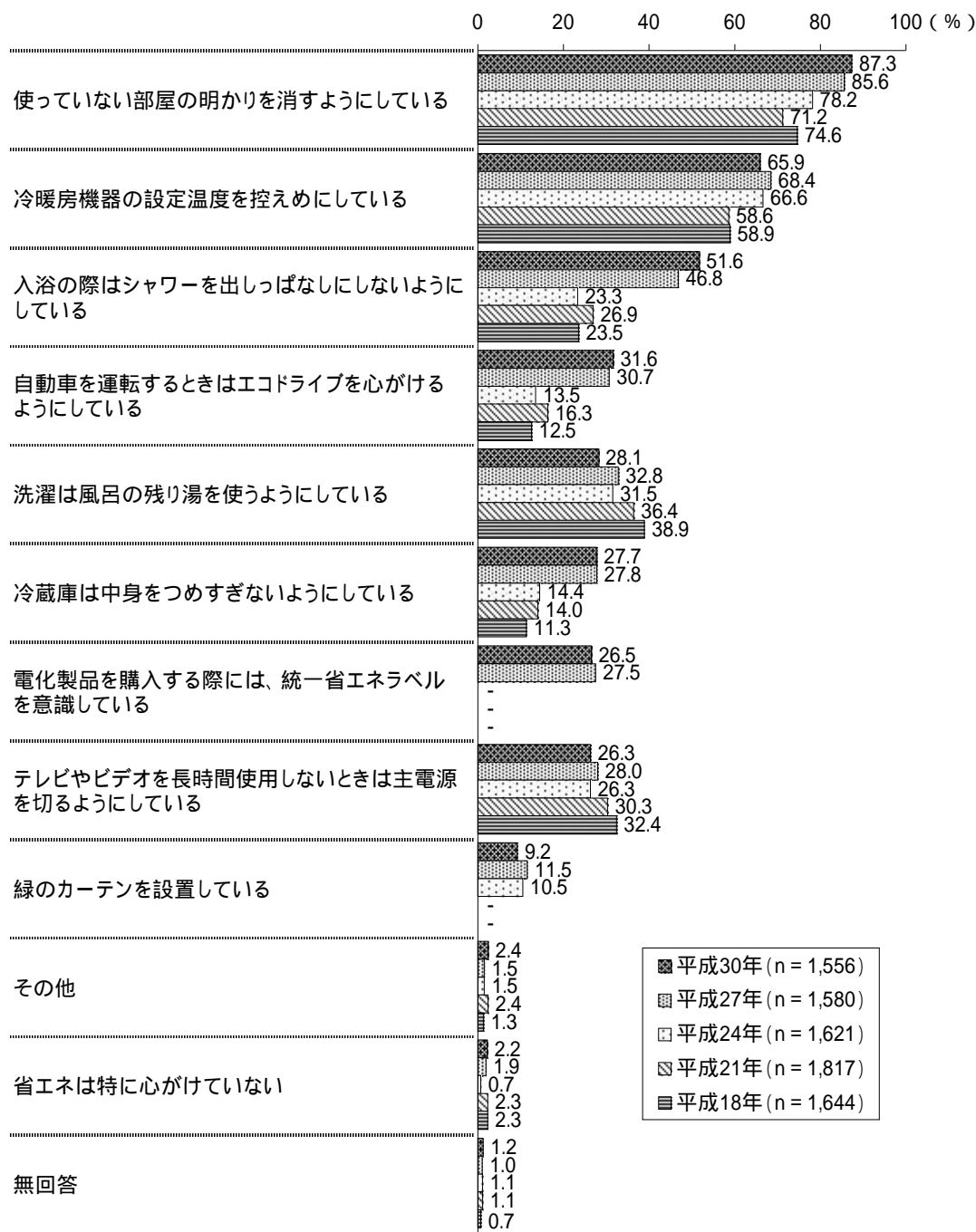


実行している省エネ活動をたずねたところ、「使っていない部屋の明かりを消すようにしている」(87.3%)が9割近くで最も多くなっている。以下、「冷暖房機器の設定温度を控えめにしている」(65.9%)、「入浴の際はシャワーを出しっぱなしにしないようにしている」(51.6%)、「自動車を運転するときはエコドライブを心がけるようにしている」(31.6%)などの順となっている。

(図表 5 - 5 - 1)

時系列でみると、「入浴の際はシャワーを出しっぱなしにしないようにしている」は前回調査より4.8ポイント増加している。一方、「洗濯は風呂の残り湯を使うようにしている」は前回調査より4.7ポイント減少している。（図表5-5-2）

図表5-5-2 時系列 - 実行している省エネ活動

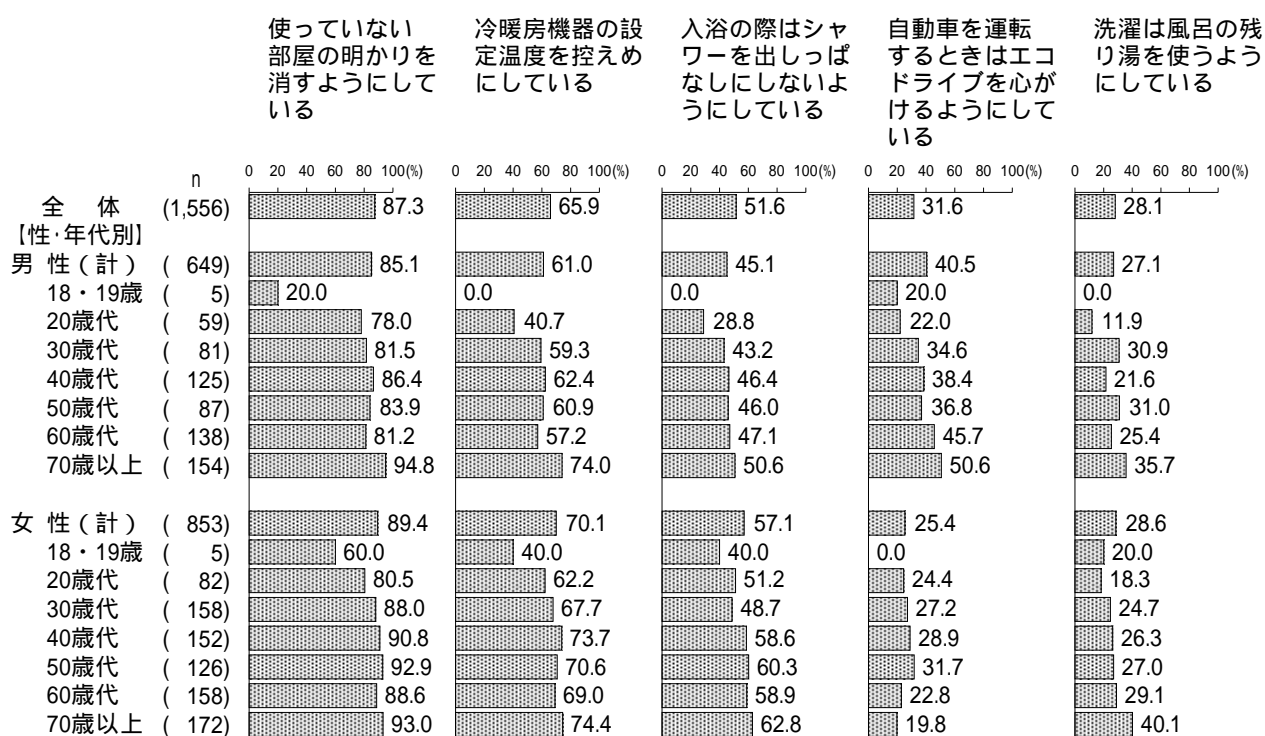


(注1) 「電化製品を購入する際には、統一省エネラベルを意識している」は、平成27年から追加された選択肢。

(注2) 「緑のカーテンを設置している」は、平成24年から追加された選択肢。

上位5項目を性・年代別にみると、「使っていない部屋の明かりを消すようにしている」は男性70歳以上で9割半ばと多くなっている。「冷暖房機器の設定温度を控えめにしている」は男女ともに70歳以上で7割半ばと多くなっている。「自動車を運転するときはエコドライブを心がけるようにしている」は男性70歳以上で約5割と多くなっている。(図表5-5-3)

図表5-5-3 性・年代別(上位5項目) - 実行している省エネ活動



(6) まちの緑化への活動内容

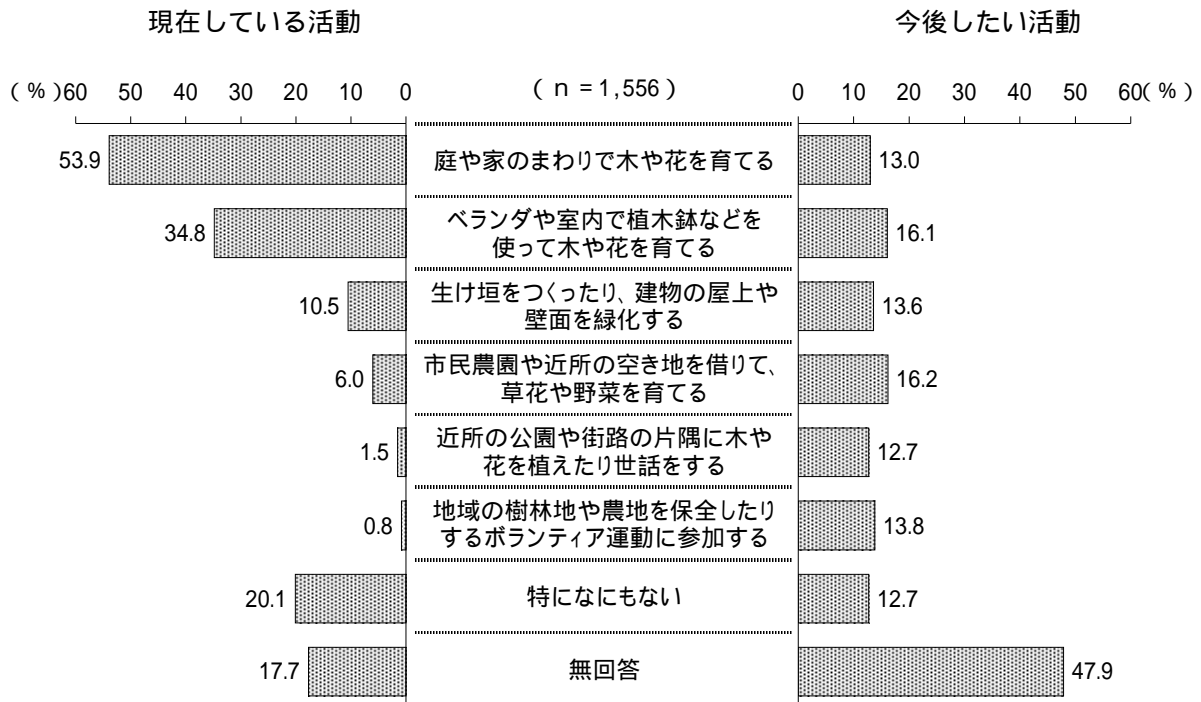
現在している活動 は「庭や家のまわりで木や花を育てる」が53.9%、

今後したい活動 は「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」が16.2%、

「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」が16.1%

問37 あなたは、緑を増やすために、現在どのようなことをしていますか。また、今後どのようなことをしたいですか。(はいいくつでも)

図表 5 - 6 - 1



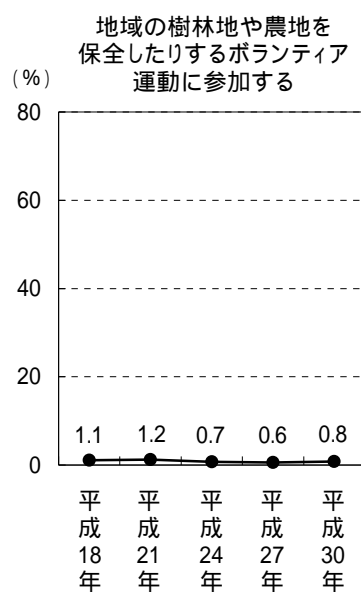
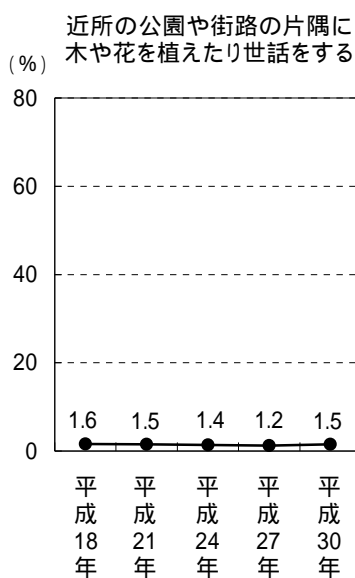
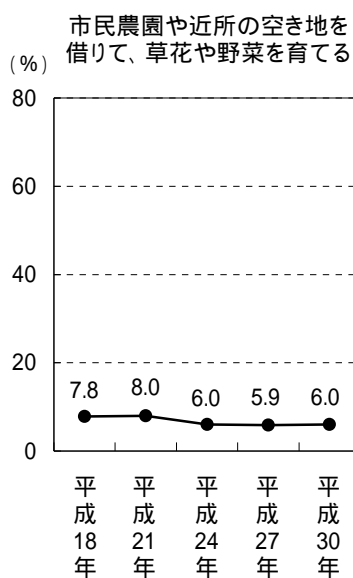
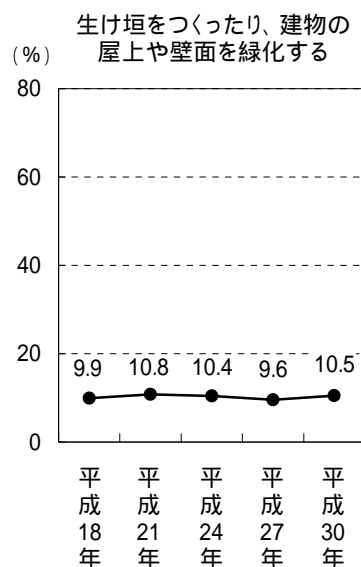
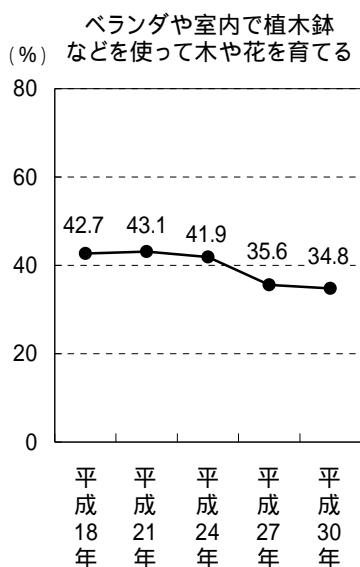
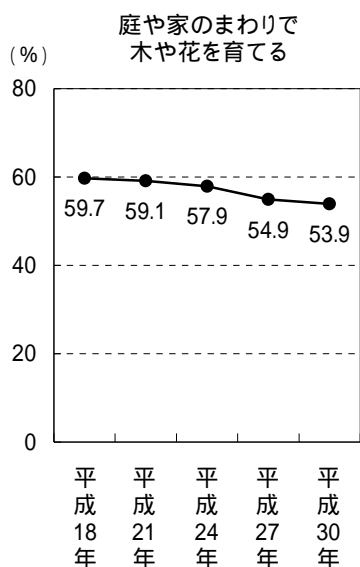
まちの緑化のために 現在している活動 と 今後したい活動をたずねたところ、現在している活動 は、「庭や家のまわりで木や花を育てる」(53.9%)が5割を超えて最も多くなっている。以下、「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」(34.8%)、「生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する」(10.5%)などの順となっている。

今後したい活動 は、「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」(16.2%)と「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」(16.1%)が1割半ばとなっている。

(図表 5 - 6 - 1)

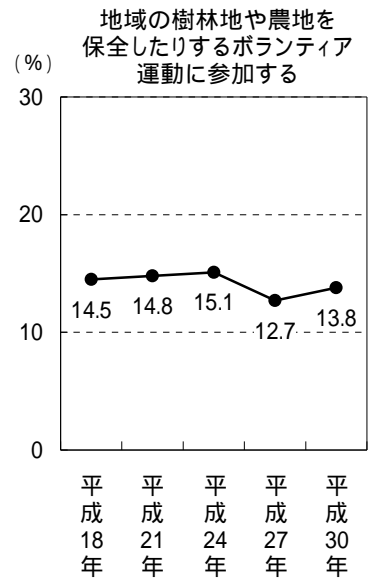
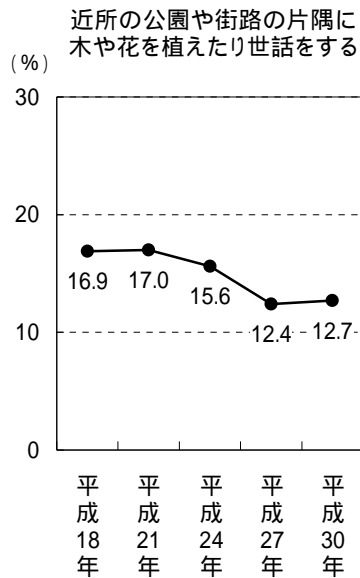
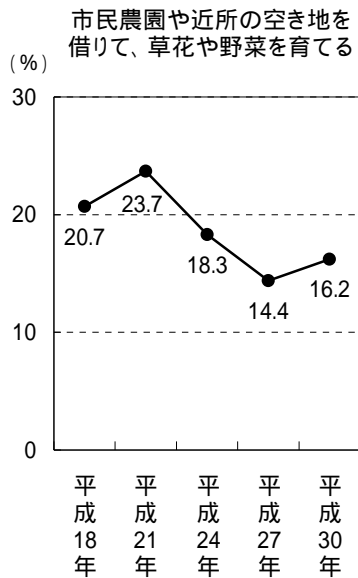
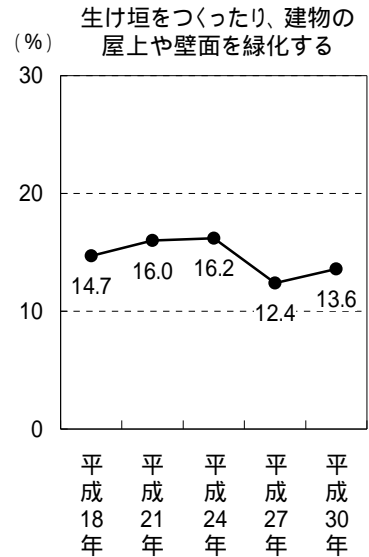
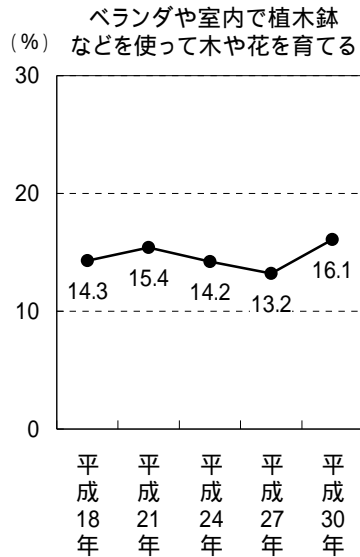
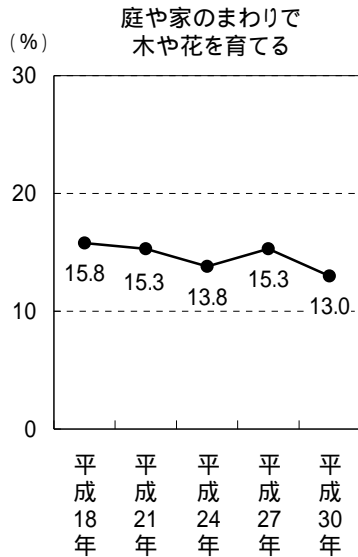
現在している活動 を時系列でみると、「庭や家のまわりで木や花を育てる」は平成18年以降、「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」は平成21年以降、それぞれ減少傾向となっている。（図表5-6-2）

図表5-6-2 時系列 - まちの緑化への活動内容 現在している活動



今後したい活動 を時系列でみると、「庭や家のまわりで木や花を育てる」を除くすべての項目で、前回調査より増加している。(図表5-6-3)

図表5-6-3 時系列 - まちの緑化への活動内容 今後したい活動

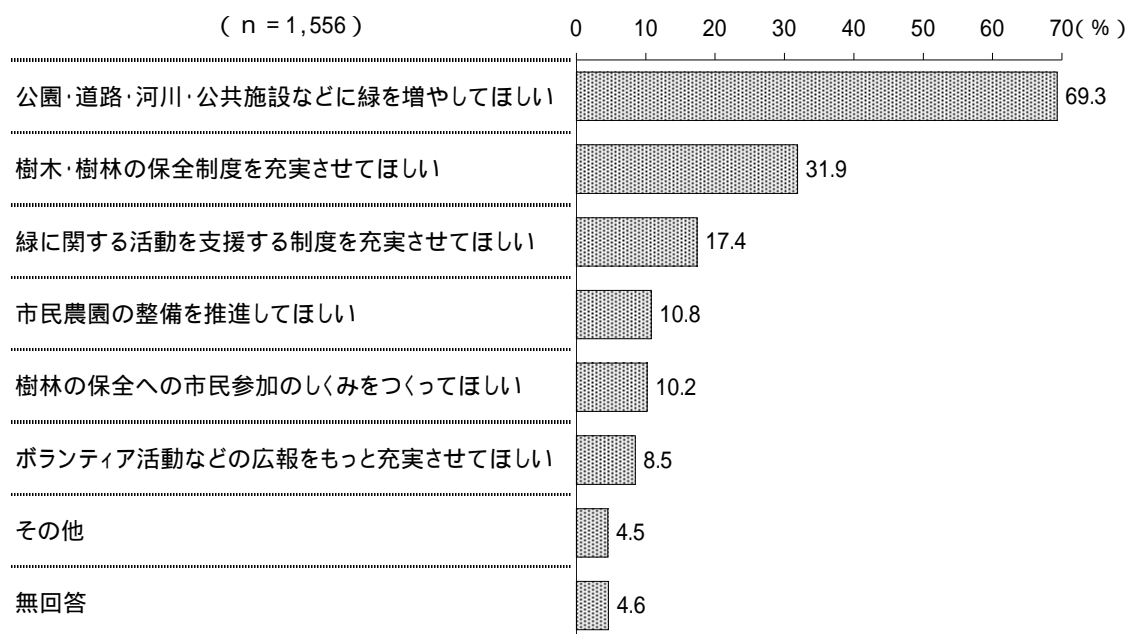


(7) まちの緑化への施策

「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」が69.3%

問38 あなたは、街の緑を守り、増やすために、どのようなことを望みますか。次の中から3つ以内で選んでください。(は3つ以内)

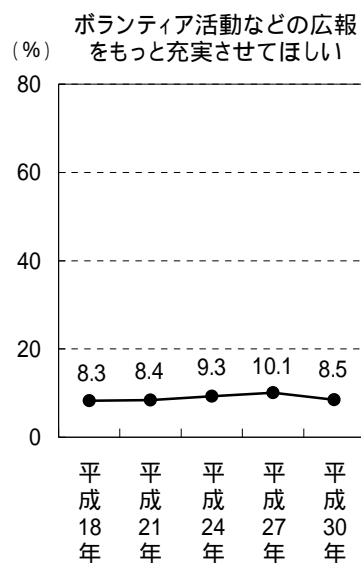
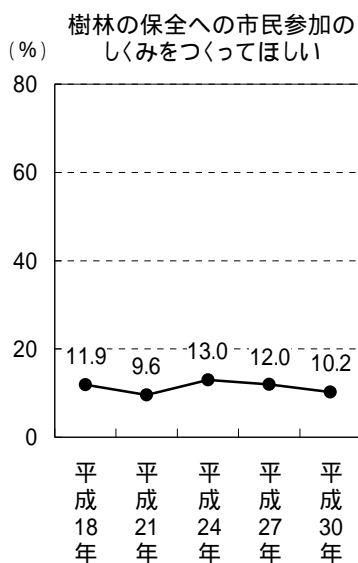
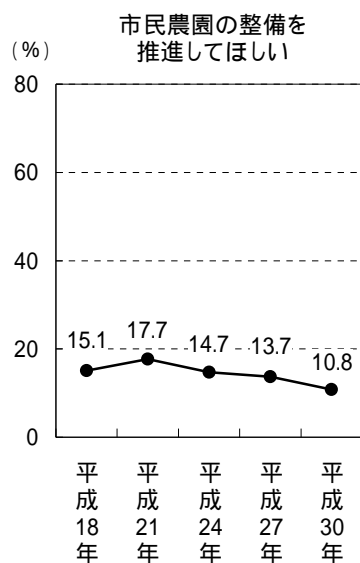
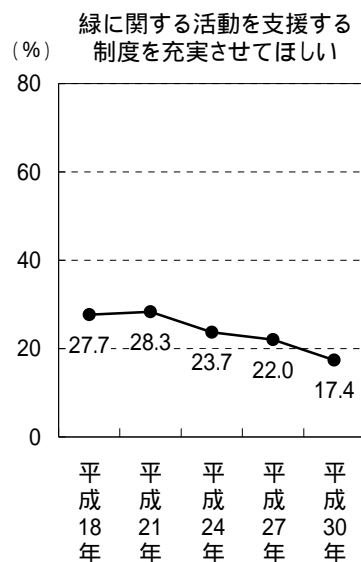
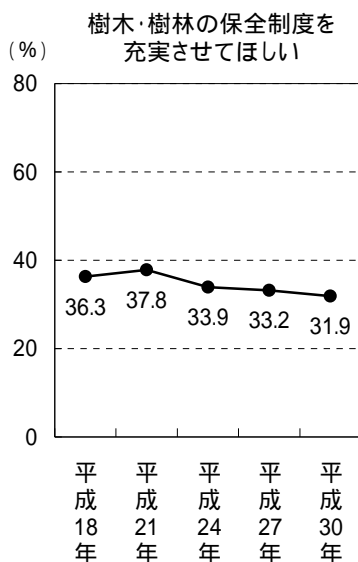
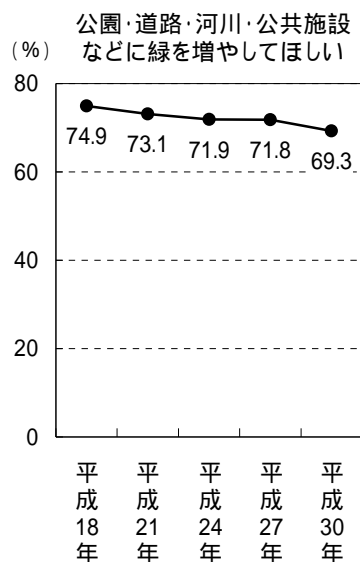
図表 5 - 7 - 1



まちの緑化への施策をたずねたところ、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」(69.3%)が約7割で最も多くなっている。以下、「樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい」(31.9%)、「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」(17.4%)、「市民農園の整備を推進してほしい」(10.8%)などの順となっている。(図表5-7-1)

時系列でみると、「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」は平成21年以降減少傾向となっており、前回調査より4.6ポイント減少している。（図表5-7-2）

図表5-7-2 時系列 - まちの緑化への施策



上位5項目を年代別にみると、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」は20歳代と30歳代で7割台と多くなっている。「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」は70歳以上で2割半ばと多くなっている。(図表5-7-3)

図表5-7-3 年代別(上位5項目) - まちの緑化への施策

